

# 高知憲法速報

№137 2007.12.7  
 発行：高知憲法会議事務局  
 088-872-3406  
 編集人 事務局 徳弘嘉孝

## 長野県梓川高校で生徒が5か条の学校憲法

12月2日信濃毎日新聞より

長野県立梓川高校で「憲法」が制定され、13日の生徒総会で公布する。感謝の気持ちや青春をテーマに「校則のような縛りではなく、生徒のなりたい姿を形にした」全5ヶ条。3学年の総合学習で10あるゼミの1つ「憲法ゼミ」が中心となり、全校アンケートを基に原案を作成。クラス代表で構成する評議員会を通じて全校生徒とやり取りしながら練り上げた。

### 梓川高校の「学校憲法」全文

第1条 上高地線の運賃にも、河岸段丘の急な坂にも負けず、下原スイカのように日本のONLY ONEになろう。

第2条 輝く挨拶で、やさしく、厳しく、あたたかい環境をつくろう。

第3条 一人ひとりのできることを持ち寄って、仲間を思いやる気持ちを形にしよう。

第4条 素直に「ごめんなさい」心から「ありがとう」言われてみんな笑顔になろう。

第5条 一度しかない現在(いま)だから、失敗を恐れず自らの限界に挑戦し青春しよう。

## 九条の会第2回全国交流集會に1020人

11月24日東京都内で、「九条の会」全国交流集會が開かれ、全都道府県から550の「会」代表ら1020人が参加して運動を交流しました。昨年6月の第1回全国交流集會の当時5174だった「九条の会」は6801になったと報告されました。

「地域の新聞に意見広告を出し、沖縄平和ツアーに毎年行っている」「富士山の5合目でビールを配った」「町内の募金で『憲法九条の碑』を建てた」「『九条おじさん』と呼ばれ、署名を8510人集めた」「バッジを毎月400個売らないと家賃が払えないので、『バッジ売りの少女』になっている」など、多彩な発言がありました。呼びかけ人では大江健三郎、加藤周一、鶴見俊輔、澤地久枝、奥平康弘の5氏が挨拶。加藤氏は「任期中に改憲すると主張していた安倍政権は倒れたが、国連の下では武力行使が可能だという意見とか、憲法解釈で事実上の改憲をめざす動きもある。今後は長期的な運動が必要だ」と訴えました。

## 署名集約状況 12/7現在

会員団体名	署名目標	到達
県労連	20,000	3,976
県教組		1,133
高教組	10,000	221
私学教組		30
自治労連		1,778
県国公		2,145
福祉保育労	3,000	70
平和委員会	5,000	702
民青同盟		
新婦人	20,000	16,849
商工団体連合会	15,000	16,494
自由法曹団		
地域人権連		
高退協		100
治維同盟		
梅原憲作		
共産党県委員会	40,000	2,454
医労連		77
民医連		12,652
学習協		
山下道子法律事務所		
退教協		750
退婦教		3,340
農民組合		
その他		732
街頭署名		4,309
小計		67,812
母連		11,449
うち重複集約(報告)分		9,269
有権者過半数目標/到達合計	331,000	69,992
こうち九条の会街頭署名		5,875

## 「集団的自衛権有識者会議」報告先送り

安倍前首相の下で設置され、集団的自衛権行使の事例研究を進めてきた政府の有識者会議は11月24日、今秋予定されていた報告書のとりまとめを年内は見送る方針を固めました。福田康夫首相が性急な憲法解釈見直しに慎重な上、海上自衛隊によるインド洋での給油活動を再開させる新テロ特措法の国会審議への影響も考慮したもの。一方で、自衛隊の海外派遣のあり方を定める一般法(恒久法)制定論議も浮上。一般法の論議は武器使用基準の緩和など懇談会の4類型とも重複しており、懇談会だけが急ぐべきでないとの議論もあります。

